

アートドキュメント2025 | 受贈記念

# 時空の旅 —— 奈良原一高の写真

1月17日[土]-3月8日[日]まで

会場 美術館 アートコア ミュージアム-1、ギャラリー  
 時間 10:00~17:00 (最終入場 16:30)  
 休館日 月曜休館 (祝日開館、翌平日休館)  
 観覧料 一般:600円(400円)、65歳以上・障がい者 300円  
 高校生以下・障がい者の介護者  
 (当該障がい者1人につき1人)無料  
 ( )内は20人以上の団体料金

戦後日本の写真界をけん引してきた写真家・奈良原一高(1931-2020)氏の貴重な作品153点がご遺族より当館に寄贈されました。これを記念し、受贈記念展を開催します。

本展では、代表的なシリーズ約80点に加え、1986年の個展以来、未公開となっていたシリーズ『デジタル・シティ ヒューストン』を40年ぶりに公開します。作家自らが現像したオリジナルの作品群は、デジタルでは再現できない独自の質感を放ちます。奈良原の鋭い眼差しが生み出す魅惑的な世界が体感できる、極めて貴重な機会です。ぜひご来場下さい。

奈良原 一高 Ikko Narahara

1931(昭和6)年~2020(令和2)年

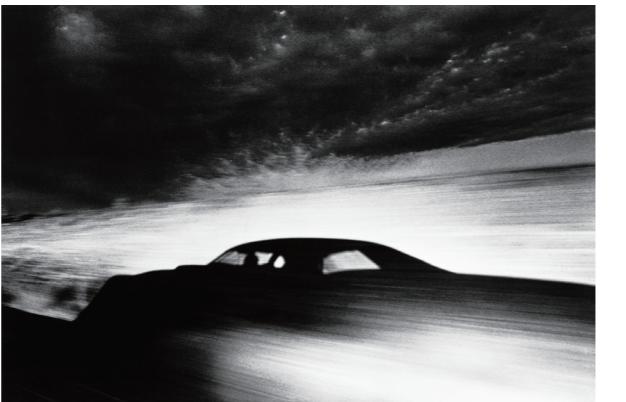
福岡県に生まれる。1956年、初個展「人間の土地」により、戦後日本の写真表現を塗り替えるほどの衝撃を与えた。この個展を契機として新鋭の写真家たちが集い、写真のセルフ・エージェンシー「VIVO」を結成していく。第2回個展「王国」で日本写真家協会新人賞を受賞。その後、ヨーロッパ、アメリカと自らの身を置く場を移しながら、写真集『ヨーロッパ・静止した時間』、『消滅した時間』など人間の創り上げた文明の光景を映し出す珠玉の作品群を生み出していく。日本を代表する写真家であるとともに、国際的にも高い評価を受けている。

## ガラス工房 干支絵付け体験

2026年の干支「午」をモチーフにした工房スタッフ手作りのガラスのオブジェに色鉛筆やマーカー、絵の具などで色付けします。《数量限定・要予約》

日 時 1月末までの開館日 10:00~12:00 / 13:00~15:00 / 15:00~17:00  
 定 員 各時間帯1人~10人程度(10人以上の団体も受付可)  
 受講料 2,300円(1作品・材料費・税込)  
 作品受渡 当日お持ち帰りできます。

冬季限定



『砂漠の中を走る車の影〈消滅した時間〉より』1971年  
©Narahara Ikko Archives

### 関連企画 あわら市民大学講座 「時空の旅 奈良原一高の写真」

西洋近代美術史・写真史研究。奈良原一高の研究・展覧会企画に長年携わってきた第一人者・鳴谷典子(つたにのりこ)氏が奈良原一高の写真の魅力を解説します。

日 時=1月18日(日) 13:30~15:00  
 会 場=美術館アートコア ミュージアム-2  
 講 師=鳴谷 典子氏(前・島根県立美術館学芸課長)  
 定 員=50人(先着申込順)  
 料 金=無料  
 申 込=二次元コード、または電話73-7800  
 からお申込みください。



お申込みはこちら



奈良原一高  
山中湖にて1999年1月  
© Keiko Narahara



掲載作品は、奈良原一高作  
©Narahara Ikko Archives  
本紙のスキャン、デジタル化など、  
無断複写は著作権法の例外を除き、  
禁止されています。

## 子どもたちから感謝の歌と花束

◆11月11日(火) 市役所



## 安全・安心な給食の現場を見学!

◆11月14日(金) 学校給食センター



「学校給食レストラン」が開催され、市民18人が参加しました。参加者は、調理の様子を見学窓や動画で確認し、食育の取り組みについて説明を受けました。試食では、あわら市産いちほまれを使ったごはんや、福井県産食材をふんだんに取り入れた献立を味わい、「安全・安心でおいしい給食」を体験しました。

給食センターでは今後も食育を通じて、地域と学校をつなぐ取り組みを続けていきます。

## 東日本大会金賞 仲間と奏でた青春の音

◆11月25日(火) 市役所



三国高等学校吹奏楽部が、山形県で開催された「第25回東日本学校吹奏楽大会」において、金賞を受賞し、森市長を表敬訪問しました。

この日、あわら市在住のトロンボーン担当3年・堀井桃寧さんと、フルート担当2年・深崎唯那さんが出席し、大会の報告を行いました。堀井さんは「3年間で一番楽しい演奏でした。宝物になりました。」と笑顔で語ってくれました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします！



いちひめこども園の3歳児の皆さん、子育て支援課を訪れ、歌と花束のプレゼントを届けてくれました。

勤労感謝の日にちなみ、子どもたちの暮らす地域で働く人々に感謝を伝える恒例行事で、普段訪れる事のない市役所に入ると少し緊張した様子でしたが、合唱曲「どんぐりころころ」と「さくのはな」を元気いっぱいに披露し、職員一同、笑顔と癒しに包まれました。

## 共助で守る命 避難所設営を体験

◆11月16日(日) 細呂木小学校



あわら市総合防災訓練が行われ、市内全域で住民避難訓練を行った後、細呂木地区住民を対象に、避難所設営訓練を実施しました。段ボールベッドの組み立てや簡易トイレの使い方など、実際の避難所設営を体験しました。

また、あわら市赤十字奉仕団による炊き出し訓練や福井県のトイレトラックなど、防災関係機関の展示ブースも並び、今回の訓練を通じて、各機関との連携強化と市民の防災意識向上を図ることができました。

## 芦原小、花壇づくりで内閣総理大臣賞

◆11月29日(土) 福井県国際交流会館



芦原小学校の児童による花壇づくりの取り組みが、「第62回フラワー・ラボ・コンクール」で最高位となる内閣総理大臣賞を受賞し、表彰式が行われました。このコンクールは、花壇づくりを通じて自然を愛する心を育むことを目的としています。

芦原小学校では、実行委員会から配布された花の種を、フラワー委員会の児童が協力して育て、工夫を凝らして色とりどりの美しい花壇を作り上げました。こうした活動が高く評価され、今回の受賞につながりました。